

卒業年次学生の歌詞創作の傾向 替え歌「おもいでアルバム」の「春」の情景

Trends in Lyrics Creation by Graduating Year Students
Scenes from "Spring" in "Omoide no Album"

飯泉祐美子 (帝京科学大学)

Yumiko IIZUMI (Teikyo University of science)

(要旨)

現在、T大学の幼児保育学科の卒業生は、その85%以上が、保育現場の仕事に従事している。以前、その卒業生の中で、「おもいでアルバム」の替え歌づくり等で、現場で苦戦しているという相談があった。このことがきっかけで、4年生の卒業間際の授業で本取り組みを企画するに至った。

本稿は、そのような学生らが授業内で作成した替え歌歌詞のうち、「春」の部分の内容を取り上げ、その傾向などを探ったものである。

(キーワード)

歌詞、替え歌、

1. 授業に至る経緯

現在、T大学の幼児保育学科の卒業生は、その85%以上が、保育現場の仕事に従事している。以前、その卒業生の中で、「おもいでアルバム」の替え歌づくり等で、現場で苦戦しているという相談があった。このことがきっかけで、4年生の卒業間際の授業で本取り組みを企画するに至った。

本稿は、そのような学生らが授業内で作成した替え歌歌詞のうち、「春」の部分の内容を取り上げ、その傾向などを探ったものである。

2. 教材について

(1)対象の楽曲

対象の教材は、楽曲が成立してから60年以上たった現在でも、多くの幼稚園、保育所、認定こども園で、卒園式で歌われることの多い、「思い出アルバム」「おもいでアルバム」(作詞 増子とし、作曲 本多鉄磨)とする。

(2)楽曲の使用について

この楽曲は、現在卒園式の定番曲のひとつ

なっていることは周知のことであるが、実際の卒園式では、そのオリジナルの歌詞がうたわれることはなく、それぞれの園がオリジナルのスタイルを踏襲しながら、独自の歌詞を作成し歌うことも定番である。

(3)オリジナル楽曲の成立について

作詞者の増子としは、クリスチャンであり、墨田区の江東橋保育園長であった。作曲者の本多鉄磨は調布市の仏教系幼稚園・神代幼稚園の園長であった。

異教徒である作詞者、作曲者が、それぞれの園の子どもたちへの思いを込めて創作したということは、戦後の復興、そして高度経済成長期を迎えた、新生日本を象徴しているように思われる。

この楽曲は、1年間の出来事を季節ごとに思い出し、最後は幼稚園を卒園して小学校1年生になる様子を歌っている。7番構成の楽曲であり、1番は回想の始まりを歌い、2番から6番は春・夏・秋・冬の各季節での出来事を歌っている。冬は5番と6番の2コーラスあるが、5番はクリスマスを扱っており、宗教の信仰上、

5番を除いた、全6番で歌唱されることもある。

1961年に『幼児のためのリズムカルプレー』（フレーベル館）で発表され、その後幼稚園教材としてビクターレコードからレコード化され、保育の現場で歌い継がれてきたものである。

3. 取り扱った授業

本内容を取り扱う授業は、4年生後期科目「保育・教職実践演習」（教職課程における教育の基礎的理解に関する科目等）（児童福祉法第18条の6第1号指定保育士養成施設における告示別表第1による教科目）とした。

4. 授業の概要

(1) 日程

本授業は以下の日程で実施された。

令和5年11月1日（水）9:00～10:30

履修登録数 41名中 40名

令和5年11月8日（水）9:00～10:30

履修登録数 45名中 44名

令和5年12月6日（水）9:00～10:30

履修登録数 39名中 38名

以上履修登録数 125名中 122名の卒業年次の学生が対象である。しかし、1名がオリジナル歌詞の書き写しであったため、創作歌詞総数は121とする。

実施場所はいずれもT大学の7204教室である。

尚、学生には創作した替え歌の詩の内容を集計し、公表することを説明し、承諾を得ている。

(2) 替え歌のつくり方

構成は、6番構成とし、その構成内容は以下の通りである。

1番・・・「いつのことだか」または回想の始まりである歌詞とする。

2番・・・春を回想できる歌詞とする。「はるのことだが」「はるのことです」も可能とする。

3番・・・夏を回想できる歌詞とする。「なつの

ことだが」「なつのことです」も可能とする。
4番・・・秋を回想できる歌詞とする。「あきのことだが」「あきのことです」も可能とする。
5番・・・冬を回想できる歌詞とする。「ふゆのことだが」「ふゆのことです」も可能とする。
6番・・・「いちねんじゅうを」または歌を締めくくる内容である歌詞とする。

この替え歌は、各自の「就職する園」や「実習した園」、「母園」など、具体的なイメージをもって思いを込めることができる園で歌われることを想定した。

5. 本報告の対象箇所

本報告では特に「春」をテーマとした2番の歌詞を様々な切り口より見ていくこととする。

6. 替え歌歌詞の内容の紹介

取り扱う報告では特に「春」をテーマとした2番の歌詞とする。オリジナル歌詞と同様に、歌うことを想定したフレーズ感の4小節ごとに見ていく。

(1) 1小節目から4小節目

譜例 1



はーるのーこ とーですーおもい だして ごーらん

この部分は、オリジナル歌詞でははっきりと「春」と歌っている部分である。

121名中 45名、およそ 37%がオリジナル歌詞「はーるのーこ とーですーおもい だして ごーらん」をそのまま踏襲している。そして続く 38名およそ 31%がそれと類似した「はーるのーこ とーだがー」というほぼ変わらないような歌詞となっている。ほかの 35名 28%はオリジナルとは全く異なる歌詞としているが、「はる」という言葉の使用率は高く、「はるのおもいで」「はるのできごと」「はるのえんそく」と「春」を歌っているということがすぐにわかるもの

であったり、「春」を象徴する「さくら」という言葉を使用しているものが目につく。「さくらがさくころ」「さくらのきせつ」「さくらはなが」などである。この他のものも、この冒頭の1小節目から2小節目までに「おだやかな春」「暖かな春」であることがイメージできる言葉によって歌われている。

3小節目から4小節目「おもいでしてごらん」の部分も99名81%の学生がオリジナルを踏襲している。

以下に1小節目から4小節目までの作成された歌詞の一覧を示す。

表1 1~4小節目歌詞

1小節目~2小節目	3小節目から4小節目	数
はるのことで	おもいでしてごらん	45
はるのことで	にゆうえんしきで	1
はるのことで	いつまでもおもいだす	1
はるのことだが	おもいでしてごらん	38
はるのできごと	おもいでしてごらん	2
はるのおもいで	ふりかえってごらん	1
はるのおもいで	おもいでしていよう	1
はるのえんそく	さくらがさくきせつ	1
はるのえんそく	はじめてのこと	1
はるのえんてい	ピンクいろのけしき	1
はるになったら	おもいでしてごらん	1
はるのことで	おやこえんそくでは	1
はるのかぜふく	ぼかぼかのおにわで	1
ぼかぼかなはる	みんなとであった	1
さくらがさくころ	おもいでしてごらん	2
さくらがさくころ	あたらしいきせつだよ	1
さくらのきせつ	おもいでしてごらん	2
さくらのきせつ	どんなことがあったか	1
さくらはなが	さきはじめてころに	1
さくらはなが	まんかいのきせつに	1
さくらがまつる	はなのカーテンのよう	1
さくらのいろが	ころふるわすね	1
さくらのきせつ	おもいでしてごらん	1
さくらがまつて	ままとばばとあるく	1
さくらがさいた	はるがやってきたよ	1
はなふるきせつを	おもいでしてごらん	1
はなまつりのことを	おもいでしてごらん	1
ぼかぼかびよりを	おもいでしてごらん	1
あたらしいせいふく	ちゃんときれているかな	1
であったときだが	おもいでしてごらん	1
さいしょのことを	おもいでしてごらん	1
ようちえんにさ	はじめていくんだよね	1
はるはぼかぼか	こうえんまでおさんぽ	1
にゆうえんしきを	おもいでしてごらん	1
にゆうがくしきを	おもいでしてごらん	1
すごしやすいひ	えんそくにいったよ	1
みんなとはじめて	あったときはなし	1
総数		121

(2) 5小節目から8小節目

譜例2



あんなこと—こんなこと— あった—で— しょう—

この部分は、オリジナルの歌詞では、「いよいよ具体的な回想が始まる」という内容を歌っている部分である。

121名中82名67%がオリジナル歌詞「あんなこと—こんなこと—あ—った—で—しょう—」をそのまま踏襲している。

オリジナルの歌詞では5小節目から6小節目にかけて「あんなこと」「こんなこと」と並列の言葉が並んでいるが、「おかしやおべんとう」「うれしさとさみしさを」「であいとわかれの」と並列の言葉を並べているもの、また、5小節目が6小節目の歌詞を修飾しているものが見られる。

この部分は前述の「いよいよ具体的な回想が始まる」という期待も感じられる部分のせいか「ドキドキ」（どきどき）「ワクワク」（わくわく）という言葉もみられる。

7小節目から8小節目は、オリジナルの歌詞が「あったでしよう」と問いかける調子の語尾であるためか、「しょう」「○○○ね」「○○○よ」という語尾のものが見られる。

また、この部分の段階では歌詞全体のストーリーの中心には触れておらず、この後に続くストーリー展開を予告するような内容にとどまっている。

以下に、5小節目から8小節目まで作成された歌詞の一覧を示す。

表2 5~8小節目歌詞

5小節目~6小節目	7小節目~8小節目	数
あんなことこんなこと	あったでしよう	82
あんなことこんなこと	あったよね	1
あんなことこんなこと	あったかも	1
あんなことこんなこと	やってみたよ	1
せんせいやおともだち	によろしくね	1

せんせいやともだちと	であった	1
おかしやおべんとう	たべたでしょう	1
うれしさとさみしさを	しりました	1
チューリップもうめのはも	キレイだな	1
であいとわかれの	こうさてん	1
しんきゅうしきにゆうえんしき	あったよね	1
たのしいたのしい	えんそく	1
むしさんおはなさん	みつけた	1
ドキドキワクワク	したでしょう	1
ドキドキワクワク	あったでしょう	1
どきどきわくわく	してたね	1
ワクワクドキドキ	かんじたよ	1
わくわくドキドキ	していたよ	1
むねがどきどき	たのしみだ	1
おもいでになったこと	あったでしょう	1
えんそくでどうぶつえんに	いったでしょう	1
あたらしいであいが	あったでしょう	1
みんなでえんそく	いったでしょう	1
さくらのしたで	であえたでしょう	1
どんなたのしいこと	あったでしょう	1
あたらしいゆうじんと	あったでしょう	1
ピンクのかおりに	つつまれて	1
たくさんのともだちと	であった	1
きんちょうしていた	にゆうえんしき	1
ほいくえんまでのみち	すきだった	1
えんそくしたよね	どうぶつえん	1
みんなでたくさん	そとであそんだ	1
ともだちできるかな	ふあんだよね	1
きれいなおはなが	さいていた	1
みんなでこうえんに	いきました	1
バスのなかみえていた	おつきなき	1
さくらがきれいな	こうえんで	1
なかよくあそんだ	ともだちと	1
おいしいべんとう	たべたよね	1
ピンクにそまった	ようちえん	1
総数		121

(3) 9小節目から12小節目

譜例3



ぼかぼ かーおにーわでー なかよくーあ そーんだー

この部分は、歌詞のストーリーの中心的な部

分である。多様な内容が展開されている。この部分は「9小節目から10小節目」「11小節目から12小節目」と2つの節で見た場合に、2つの節の関係が以下のようなものに分けられる。

名詞+名詞・・・名詞並列型

動詞+動詞・・・動詞並列型

場所+動詞・・・文章型1

修飾語+動詞・・・文章型2

修飾語+名詞・・・名詞説明型

主語+述語・・・主語述語型

この分類カテゴリー項目は、現段階では、まだ未完の部分を残すが、本報告ではこのカテゴリーに沿って提示する。

表3名詞並列型

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
きれいなおはなと	きらきらえがおの
なれないえんぶく	あたらしいともだち
いもほりのこと	さくらのきのこと
きんちょうしたこと	ともだちができたこと
おともだちと	おかあさん
おやこえんそく	おべんとうやあそび
ともだちづくり	あたらしいきょうしつ
かなしかったこと	さびしかったこと
たのしかったこと	しあわせだったこと
ぼかぼかおそと	ひらひらちょうちょ
はじめてのともだち	はじめてのせんせい
ドキドキしたこと	ふあんだったこと
えんそくにいったこうえん	ピンクいろのき
いねかりのえんそく	こてきたいのれんしゅう
おはなつんだこと	えんそくいったこと
かなしいわかれも	たくさんのであい
ぶかぶかのふく	びかびかのなふだ
ともだちがいて	せんせがいて
さくらをみたこと	ちょうちょをおいかけたこと
ぼかぼかのおそと	はなにいろのちょうちょ
たくさんのはな	たくさんのともだち
からあげだったり	ハンバーグだったり
はるのえんそく	じゃがいもほり
おおきなえんぶく	きれいなかばん
にゆうえんしきをしたこと	せんせいがかわったこと
あたらしいクラス	はじめてのせんせい
すてきだったばしょ	だいすきだったひと
さくらみたこと	ともだちできたこと
にゆうえんしきや	おやこえんそく
さくらのしたでピクニック	あたらしいおともだち
あたらしいおへや	たくさんのともだち
にわにさいたはな	はじめてみるゆうぐ
さくらのこうえん	きれいなはなびら

表4 動詞並列型

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
いちごがりして	おさかなもつって
えんそくにいった	みんなであそんで
さくらをみたり	おべんとうたべた
おはなあつめて	いろみずつくった
さくらをみたり	こいのぼりをつくったり
ゆきがなくなつて	つちがかおだして
つつじをみつけ	あまいみつすって
バスででかけて	おもいでつくって
こうえんにいった	なかよくあそんだ
おいかけっこして	かくれんぼして
むしとりしたこと	みずあそびした
おべんとうもつて	ピクニックして
せいふくをきて	ともだちとあそんで

表6 文章型2

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
にゆうえんしきのこと	きんちょうしたこと
あたたかいてんき	そとではしゃいで
ともだちできて	はじめてあそんだ
わくわくした	えんそくにいった
はじめてのともだち	なかよくなれたね
ひらひらさくら	きれいにさいた
さくらのしたで	あたらしいであい
であいとわかれで	たくましくなつて
ポカポカのてんき	こうえんでおべんと
はじめてあつた子と	さくらひろいして
てづくりおべんとう	とてもおいしかったよ
おさんぽびより	おはなさんおはよう
はじめてあつたともだち	きんちょうしてドキドキ
ともだちとともに	はじめてあそんだ
あたらしいともだち	なかよくなれるか

表5 文章型1

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
おやこえんそく	たのしかったよね
あたらしいクラスで	きんちょうしたけど
はるのえんそくで	みんなとあそんだ
さくらははなびら	かこんでおはなみ
おおきなえんていで	さくらのきをみたよ
かかしこうえん	みんなでおはなみ
なかよくあそんだ	ほかほかおにわで
てをつないでいった	こうえんでピクニック
ドキドキではいった	あたらしいおへや
さくらのしたで	みんなであそんで
パタパタボンボン	みんなですべった
すわこうえんで	みんなでたべた
さくらのしたで	うつつたしゃしん
にゆうがくしきで	きんちょうしてた
さくらなみきで	はなみをしたよ
ぼうしかぶつて	こうえんへさんぽ
うんどうかいでは	あらしおどつたよ
みさとこうえんで	みんなでえんそく
こうつひろぼで	みんなであそんだ
えんていのさくら	みんなでみたね
きんちょうしたよ	いすにすわつて
さくらこうえんで	みんなであそんだ
ほかほかおにわで	みんなであそんだ
さくらのきまえて	おはなみをしたこと
えんのでらすで	みんなわになつて
えんていのゆうぐで	みんなとあそんだ
さくらふるなか	みんなとであつた
ほかほかおにわで	たべたおべんとう
さくらのなかで	きれいにどつた
ほかほかえんてい	なかよくあそんだ
さくらさくころ	みんなとであつた
みんなであつたえんそく	いろんなどうぶついた
ほかほかこうえん	みんなでおはなみ
おやこえんそくで	おべんとうたべたね

表7 名詞説明型

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
はなさくきせつ	たのしかったはなつみ
さくらがさいた	しがつのあるひ
なかよくあそんだ	おもしろかつたこと
わくわくしたよ	きのみひろい
まんかいにさく	さくらははなびら
はじめてできた	ともだちといっしょに
おやこえんそく	さくらのこうえんで
おやこえんそく	さくらのこうえんで
ふわふわピンクの	きれいなさくら
みんなでなかよく	あそんだえんそく
おしゃかさまの	おたんじょうび
ほかほかびよりの	あおぞらのしたに

表8 主語述語型

9小節目～10小節目	11小節目～12小節目
さくらははなが	ひらひらちつて
あたらしいともだち	たくさんできたよね
あたらしいこと	たくさんあつた
あたらしいともだち	たくさんできたね
はじめてのひとに	きんちょうをして
おねえさんだぞつて	うれしくなつた
でもごんねんな	ことがあります
みんなであそんで	どうぶつえんへ
おいしいおべんと	みんなであつたね
あたらしいともだち	たくさんあそぼう
きれいなおはな	たくさんさいた
さくらははなびら	ひらひらしてる
ともだちたくさん	できたらいいな
さくらははなが	まんかいにさいて

(4)13小節目から16小節目

譜例4



きーれいーな はーなもー さーいてーい たー

この部分は、メロディのクライマックスと言える部分であるが、オリジナル歌詞では語り口調ではないが、替え歌では語尾が「ね」「よ」「な」の語り口調のものが顕著である。121名中28名23%が「ね」、121名中15名12%が「よ」、121名中7名6%が「な」と、121名中50名41%が自分のクラスの子どもたちとともに最後に歌う一曲として考えられたのではないかと思われる。

ストーリーの内容は多様であるが、思い出としてしみじみと思いだすような歌詞が並び、春のストーリーを完結する。

表9 語尾「ね」

13小節目から14小節目	15小節目から16小節目
いろんなどうぶつを	みにいったね
まんかいのさくら	きれいだっただね
これからどうぞ	よろしくね
きれいなおはな	さいていたね
ママにおみやげ	うれしかったね
はじめまして	よろしくね
おはなもたくさん	さいていたね
いろんなあそびを	たのしんだね
おべんとうも	おいしかったね
いろんなはじめて	ドキドキだね
たべたこと	おいしかったね
あたらしいともだち	よろしくね
おはなみえんそく	たのしかったね
みんななかよく	あそんだね
ローラーすべりだい	たのしかったね
みんないっしょで	たのしかったね
まいにちワクワク	たのしいね
さくらははなびら	ふってきたね
これからのみらい	たのしみだね
これからいっばい	あそぼうね
きょうまでたくさん	あそんだね
たくさんはしって	そそんだね
たべたきゅうしょく	おいしかったね

えさやりふれあい	たのしかったね
ともだちたくさん	つくれたね
おべんとうたべて	おいしかったね
これからさきも	よろしくね
なかよくげんきに	よろしくね

表10 語尾「よ」

13小節目から14小節目	15小節目から16小節目
みんなでおいわい	たのしかったよ
いろんなむしを	みつけたよ
あんしんしてて	おおきくなるよ
おとなになっても	おもいだすよ
おおきくなっても	おぼえてるよ
たくさんたべて	おおきくなるよ
みんなとあえるの	まっていたよ
あせをたくさん	ながしたよ
ままのあいじょう	かんじたよ
さくらははなが	さいていたよ
ともだちいっばい	つくれたよ
いいおもいでが	つくれたよ
いろんなあそび	たのしんだよ
いろいろたべて	まんぷくだよ
あたらしいひが	まっているよ

表11 語尾「な」

13小節目から14小節目	15小節目から16小節目
みんなのはる	すてきだったな
いっしょにすごすひび	たのしみだな
ともだちできて	うれしかったな
ともだちたくさん	できるかな
はるのおもいで	たのしかったな
さとみせんせい	おげんきかな
ころんだけれど	たのしいな
ともだちたくさん	うれしいな

表12 その他の語尾

13小節目から14小節目	15小節目から16小節目
たのしかったこと	わすれない
なまえよばれて	うれしかった
あたらしいみち	あるきだす
なんねんたっても	おもいでになる
おともだちも	たくさんできた
ぼかぼかおそらと	ともだちになった
ぼかぼかなひび	いちばんすき
たくさんあそんで	たのしかった
あそびつかれて	もうともだち
たくさんたべた	おべんとうを
みんななかよく	たのしんでる

さくらはなも	さいていた
たくさんのであいを	みつけられた
むしのかんさつ	おもしろかった
みんなのかおみて	あんしんした
おててをつないで	はじめまして
さくらはなびら	つかまえました
へんにゆうしたよ	ドキドキだ
なつになっても	わすれない
ちょうちょもはなも	きれいだった
これからはじまる	いちねんかん
おはなもたくさん	さいていた
キャラべんたちを	わすれない
みんなはじける	きらきらえがお
おだやかなはなも	さいている
きょうもたのしいな	ようちえん
むしやはなをみて	よるこんでた
こころのなかに	しまっていよう
いつになっても	わすれない
いろんなことが	たのしかった
ゆうきをだして	はなしかけた
かだんにはなも	さいていた
とてもきれいで	うれしかった
はるのきせつは	いそがしい
はなまつりでの	ちごぶがく
さみしくて	ないたことを
ともだちたくさん	たのしかった
あたたかいひび	ありがとう
ぼかぼかおひさま	わらっていた
あたらしいともだち	たくさんあそんだ
すべてがいまに	つながってる
ないたことも	わすれない
たのしかったねえ	わすれない
ドキドキしたよ	しんきゅうしき
あついなかみんなで	のりきりました
とってもおいしく	いただきました
いっしょにたべた	おべんとう
ちょうちょおいかけ	はしりまわる
たくさんのむし	とんでいた
かふんしょうに	なやませる
ヒラヒラおちる	はなびらあつめ
さくらのきのした	あつまってる
いろんなおはなも	さいていた
ドキドキな目を	わすれない
たのしいようちえん	はじまった
いっしょにたべた	てづくりべんとう
おひさまあびて	わらいあった
あたたかいひが	つづいてる
あそんだことが	たのしかった
さくらのしたで	ピクニック
きれいはなが	きみをてらす

どろだらけになり	ままひとくろう
にゆうえんしきの	おもいでだ
これからはじまる	えんせいかつ
あおぞらのした	たのしかった
きれいなさくらも	さいていた
いつになっても	わすれない
みつけてそっと	つかまえた
はじめてであう	ものばかりだ
いつみにきても	きれいだった

7.最後に

以上、学生の替え歌づくりの傾向を見てきた。

このような活動はこれまで、あまり重きを置いてこなかった。しかし、この替え歌が、卒園後も子どもたちの心の中に残るものだとしたら、その創作は慎重にするべきであると考えられる。

今後はこの結果をもとに、どのようにして替え歌づくりに取り組ませるか、方法を考えていきたい。

資料楽曲出典元

『思い出のアルバム』増子とし作詞 本多鉄磨作曲
 飯泉祐美子・石橋裕子編著
 いろいろな伴奏形によるこどものうた8 53 学期編
 pp.45-49 共同音楽出版社 2018